

平成30年12月栄町教育委員会定例会会議録

期日 平成30年12月21日（金）開会：午後2時 閉会：午後3時

会場 栄町役場2階第4会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	藤ヶ崎 功
委 員(教育長職務代理者)	中 島 宣 行
委 員	大久保 雅 從
委 員	弘 海 千 鶴
委 員	石 川 京 子

欠席委員 なし

説明のため出席した職員

教育総務課長	池 田 誠
学校教育課長	大 野 真 裕
生涯学習課長補佐	竹 内 康 夫
給食センター施設長	亀 田 浩

職務のため出席した職員

教育総務課長補佐（書記）	由 井 茂
--------------	-------

傍聴人：1人

- 1 教育長開会宣言
- 2 議事の進行 中島宣行委員（教育長職務代理者）
- 3 署名委員の指名 弘海千鶴委員
- 4 会期 本日1日限り

5 教育委員の活動報告

藤ヶ崎教育長：

30年度12月 「教育委員の活動報告」					
月	日	曜	場所	活動名	内 容
11	29	木	ふれプラ	研修会	印旛郡市保健研修会
	30	金	役場	課長会	庁内課長会議
			成田市	祝賀会	小中体連印旛支部表彰祝賀会
12	2	日	佐倉市	駅伝大会	佐倉市岩名運動公園にて、印旛駅伝競走大会が開催
	3	月	役場	朝礼	町長より訓示
	4	火	議会議場	開会	12月議会が開会
	5	水	役場	子ども議会 関連	子ども議員から届いていたもう一つの質問への 答弁書を町長・副町長と確認
	6	木	ふれプラ	家庭教育学 級	町家庭教育学級「I I K S (生き生きスクール)」 開催 弘海委員、石川委員と参加
	7	金	多古町	会議	北総管内教育長・校長合同会議に参加
	9	日	安食小	フェスタ	いっさいがっさいフェスティバルが安食小体育 館駐車場にて開催
	10	月	役場	校長会	国、県の研修の報告、不祥事根絶、働き方改革等 について話しました。
	11	火	役場	協議	教育事務所次長来庁
	12	水	安食小	教頭会議	国、県の研修の報告、不祥事根絶につながる文書 処理、それに伴う教育課程のあり方、働き方改革 等について話しました。
	13	木	議会議場	一般質問	野田議員、高萩議員から質問を受け、答弁
	14	金	議会議場	一般質問 議案審議	教育委員会への質問はありませんでした。 町長提出議案16件、町議提出議案1件が全て議 決されました。
	18	火	役場	課長会	教育委員会定例会議の事前会議を行いました。
			金田屋	情報交換	民生児童委員と情報交換を行いました。

19	水	役場	贈呈式	空港情報通信株式会社様から、栄中学校へ「インタラクティブ書画カメラ」にかかる町長への目録贈呈式に参加しました。
		役場	面接	町職員再任用希望者の面接試問に参加しました。
21	金	役場	定例会	教育委員会定例会議（報告2件）
			委員勉強会	働き方改革アンケート調査の報告

それでは、前回の定例会後の活動について報告します。

11月29日、印旛地区の養護教諭、保健主事がふれプラに集まりましたので、会場地教委として挨拶してまいりました。内容が性教育であり、今年3月での東京都議会で、行き過ぎた性教育を批判する質問がでていましたこと、そして、県内の高校のトイレから嬰兒が投げ捨てられていた事件の措置で、女子高校生が重過失致死容疑で書類送検されたこと、そして、私自身、平成16年に県教委指導課で勤務した際、60人の職員のほとんどが高校教員上がりで、その時「ことぶき退学」という言葉を耳にし、聞き質すと、「女子高生が妊娠して自主退学していくこと」という話で、これから高校生になる娘が2人いて、ものすごく不快感をもったことなどから、興味深く、参加しました。

講師の先生のご出身は山形県で保健婦をされていて、未成年の中絶が全国で三番目に悪かった順位を、先生のご努力でワースト46位、つまり、良い方から第二位にまで向上させて、子どもたちを守った実績をもとに、お話しされました。印旛地区の保健関係者も大変勉強になったとのことでした。

11月30日には、印旛地区の体育関係者による、表彰祝賀会が開催され、栄町からは、安食台小学校星校長先生の県学校体育功労者表彰と安食小学校の伊藤栄養教諭の文部科学大臣表彰が讃えられました。

12月2日には、佐倉市の岩名陸上競技場を発着とする印旛駅伝競走大会に赴き、応援してきました。一般男子チームと栄中女子チームが、健闘していました。

4日には、12月議会が開会し、教育民生委員会にて、池田参事が、「平成29年度教育委員会の点検・評価」の報告を法令に則り、行いました。

5日には、子ども模擬議会で、各議員から受けていた2つの質問の内、議場で答弁していない残った1問を、町長、副町長とともに、検討・確認しました。各子ども議員に、文書にて回答いたしました。

6日には、町の家庭教育学級（IIKS イイクス）が開催されました。今回は布鎌小学校が担当で、ジブラルタ生命金融知力普及協会認定インストラクターの講演を聞きました。お年玉をどう金融教育に生かしていくか、「未来を担う子どもたちのために『お

こづかい』が子どもの人生を変える」という演題で、講演いただきました。弘海委員が栄中学校 PTA として、また、石川委員も参加されていました。

7日、多古町にて、北総管内、印旛・香取・海匝地区の校長並びに教育委員会が集まりまして、平成30年度末定期人事異動に関わる会議を持ちました。

9日、安食小学校体育館脇駐車場にて、町主催のいっさいがっさいフェスティバルが開催されました。毎回、町行事を盛り上げてくれる栄中学校吹奏楽部の演奏も加わり、寒い中ではありましたが、多くの人出となりました。

10日、町校長会議を役場で開催しました。国及び11月15日の県研修会での報告と、不祥事根絶の継続、働き方改革について話しました。過労死ラインとなる80時間の超過勤務者が6月では、教諭9名、教頭1名、校長1名、と9・1・1存在していたものが、11月の調査では、教諭で1名と減少傾向を示したことを報告しました。

12日、安食小学校の町教頭会議に参加しました。校長会同様不祥事根絶、働き方改革、そして、教頭として教育課程編成の在り方について話しました。

13日には、議会の一般質問がありました。

野田議員からは、東海原発事故の際に、ひたちなか市民の一部の避難民を受け入れることに伴う、児童生徒の受け入れ計画はできているかとの質問があり、これまでの災害のように、教科書等は国が給付してくれるものであり、助け合いの観点から受け入れ体制を今後立案して参ると答弁しました。

続いて、高萩議員からは、サタデースクールの拡充についての質問に、学校教育課長が答弁し、続けて、町内で経済的な理由で普通教育を受けられない児童生徒は不存在であること。サタデースクールは、社会教育であるため、少年スポーツ団体等の関係も絡め、これ以上の拡大は考えていないと答弁しました。

なお、松島議員から、働き方改革に関連する諸問題、チーム学校への支援策、授業時間の確保、夏季休暇の短縮、プログラミング教育等の質問を受け、学校教育課長が答弁しております。

最後に、大野信正議員から、ふれプラへのスポーツジム開設の質問に、早野生涯学習課長が答弁しています。

また、最終日には、議案第2号で、お手元に用意してもらった「栄町第5次総合計画（基本構想案）」が示され、全会一致で議決されました。

こちらの基本構想は、3ページ下段の図にあるとおり、平成31年度を初年度として平成38年度を目標年次とする8年間の構想で、前期4年、後期4年間の基本計画があり、それぞれ実施計画が立てられ、毎年度見直しを行うローリング方式により策定することとなります。

教育に関しては、17 ページにあるとおり、基本目標 6「歴史と文化を誇り、心豊かに学び、生きがいがある元気なまちをつくる」とし、4 つの政策を立ててあります。

1 つとして、みんなが一体となって栄っこを育成する教育を推進します。

2 つとして、子どもたちが良好な環境で学習できる施設整備を推進します。

3 つとして、生きがいがある学習やスポーツ環境づくりを推進します。

4 つとして、地域に根ざした芸術・文化の育成と文化財等の保護・活用を図ります。として、おります。

今年度が最終年度になる第 4 次総合計画では、基本目標が 5 番目の「教育文化」で終わっていたものが、次期計画では、基本目標 8 まで拡大され、より細分化されたものと考えます。

補正予算案への議案審議では、教育総務課長が学校における Wi-Fi 環境、生涯学習課長が町民プール等の質問に答えています。

以上、議会の報告とします。

18 日には、民生委員・児童委員さん方との情報交換会に町長とともに参加しました。これから新年度に向けて、経済的な理由での普通教育の保障となる準要保護児童生徒の新規認定に向けて、大変お世話になる民生児童委員の皆さんとの情報交換を行ってまいりました。

19 日、成田空港の情報通信を一手に引き受ける会社が創立から 30 周年を迎えたことにより、周辺中学校へ「インタラクティブ書画カメラ」1 機をいただくことになり、社長から町長に贈呈されました。その後、栄中校長へと伝達されました。

そして、本日の定例会となります。

なお、お手元に、11 月 15 日にご参加いただいた県教委主催の「委員研修会」全体会の議事録の第一稿が昨日届きました。校正前ですが、確認のために増す刷りしてもらいました。

全体会の最後に、司会役であった金本教育長職務代理者からの話が載っておりましたので、再度、ここで紹介いたします。「20」ページに、「教育委員は、単にレイマン的な発言をして終わりというのではなくて、様々な施策の企画の当初の段階から関わり、一緒になってやっていく存在でなくてはなりません。」と話してくれていました。これについて、その後、教育委員会事務局に戻って、計画の段階から委員の皆さんの意見を聞くよう、今後は「委員勉強会」を開いていくことを各課長に連絡してあります。

その結果、本日は定例会が終わった後に、お残りいただいて、「教職員の働き方改革の方針策定に向けて」「働き方改革アンケート調査の報告」を学校教育課長から行

う予定です。

今後は、定例会の前後や、学校訪問等視察先等で、逐次、議案になる前段階での計画立案からご意見をいただくよう改革・改善し、より教育委員会の活性化を図ってまいりたいと思います。

これこそが、地方自治法で規定された合議制の行政委員会としての、教育委員会の独立につながっていくものと考えます。

これからもレイマンとして、よりよいご意見をお願いし、議案やイベント等の事務事業へ、より反映できるものと考えます。

長くなりましたが、活動報告といたします。

大久保委員：

学校の冬休みにわくドラに参加いたします。今回は2日間参加しますが、わくドラの事務をしている並木先生が一生懸命に行っていておられます。サポーターの手配については、元教員のみならず高校の先生や生徒に丁寧に連絡を行っていただいています。また、会場である各学校にも良く連絡調整をしていただいているので、子ども達も良い環境で学習できていますので、今後も是非お願いしたいと思います。

弘海委員：

12月6日にふれプラで実施されました第4回目のI I K S（生き生きスクール）に参加してまいりました。テーマは、「親は子どもの応援団」「生きる力」を育む親のための子どものマネー教室です。お小遣いは人生の瞬間、金と自分の欲望をコントロールする力を身に付けることが大事、また、お金との付き合い方を教えることは躰と同じように大切という3つのポイントを詳しく教えていただきました。子どもに渡すお金は、お小遣い制の方がよいということだそうです。なぜなら、将来給料をもらった際に、お金をどのように使ったらよいか解るからだそうです。お小遣いを渡す時は、お小遣い袋に家計簿を付けるような状態にしてお金を入れて渡すと家計簿を付ける習慣もつき、また、お金の流れも把握できるということでそのようにした方が良いということをお勧めされました。お小遣いを全部使うわけではなく8割ぐらい使って2割は貯金する習慣を付けてお小遣いを管理させる。また、お小遣いを全部使ってしまって欲しいものが買えなくて失敗するのも、経験として次に活かせることなど、事例を上げて話していただいたので、とても解り易かったです。一番興味があった話は、若者が社会人になり、1人暮らしを始めた時に、スーツ、家電、食事などの代金の支払いをクレジットカードで行ったことから、支払いが出来なくなり自己破産をしてしま

った話です。それは、クレジットカードを使ってはいけないということではなく、給料やボーナスの金額を良く把握をして上手にカードを使うことが大切なことで、それを、小さな時からお小遣い制にすることによって、身に付けさせることでお金の管理ができるようになると将来自己破産をしない子どもができるということ、とてもためになる話を聞かせていただきました。今回は、保護者向けの話でしたが、子どもにもすぐためになる話だと思いますので、機会があれば子ども達にも話していただければ役に立つと思いました。

12月9日のいっさいがっさいフェスティバルで栄中学校の吹奏楽部の演奏を聴いてきました。寒い中、生徒たちは頑張って演奏をしてくれて、多くのお客さん達から拍手してもらい、とても良い演奏でした。体育館の中では、栄中と安食小のPTAがバザーを行っていました。子ども達が笑顔で売っていて、とても繁盛をしていました。

石川委員：

私も、12月6日の第4回目のI I K S（生き生きスクール）に参加してまいりました。内容については弘海委員が話してくれたとおりで、とてもいい話だったので、ぜひ、学校から全保護者に、やり方やノウハウを発信していただけたらと思います。

6 案 件

報 告

報告第1号 第37回書道展の後援承認について

池田教育総務課長：

それでは、報告第1号についてご説明いたします。平成30年12月3日付けで飯嶋 千曲氏から「第37回書道展」について後援承認申請がありました。行事の趣旨は、書を通じて地域の親睦を図るものです。会場及び日程は、ふれあいプラザさかえ展示ロビーにて、平成31年3月23日（土）、24日（日）に行われるものです。行事の後援者として、産経新聞社、栄町教育委員会を予定しております。

報告第2号 第3回印西近隣中学校新人駅伝競走大会の後援承認について

次に報告第2号についてご説明いたします。平成30年12月10日付けで印西近隣中学校新人駅伝競走大会実行委員会代表 澤口 正氏から「第3回印西近隣中学校

新人駅伝競走大会」について後援承認申請がありました。行事の趣旨は、印西市、白井市、栄町中学生の競技力向上、精神力向上及び長距離選手の選手層拡大を図るとともに、青少年の健全育成に資するものです。会場及び日程は、松山下公園内周回コースにて平成31年1月19日（土）、予備日として1月26日（土）に行われるものです。参加予定者数は350名となっています。行事の後援者として、印西市教育委員会、白井市教育委員会、栄町教育委員会を予定しております。

以上2件につきましては、共催及び後援規程の趣旨に沿ったものでありますことから、教育長が専決処分したものでございます。以上よろしくお願いいたします。

7 各課からの報告

池田教育総務課長：

平成30年度12月補正予算が確定いたしましたのでご報告いたします。

歳出の合計額は、31,036千円です。特に額が大きいものは各小中学校に行います公衆無線LAN環境整備の工事請負費の26,460千円、給食センターのボイラー配管修繕及び食器消毒機修繕の574千円、プール工事請負費の入札差金として△2,517千円、プールフロアの備品購入費2,378千円となります。

大野学校教育課長：

栄中学校卓球部の男子団体が千葉県の大会で4位になりまして、関東大会に出場することになりました。個人戦では2年生が優勝しました。これは、県の大会のみで関東大会はございません。

人権作文で栄中の生徒が1人入選をいたしました。

竹内生涯学習課長補佐：

12月23日に、さかえスポーツフェスタが栄中学校を会場に行われます。9時開会、16時閉会を予定しています。委員の皆様は直接体育館へおこし下さい。

1月13日に、成人式を行います。対象者数218人、受付9時30分、10時に開催となります。

2月17日に、リバーサイドマラソンを開催する予定です。10月20日現在、2,744名の参加申込みがありました。昨年度の今の時期と比較すると251名減となっています。受付は10月27日まで行います。

施設の工事の状況ですが、町民プールは、3月20日が完成予定となっております。また、ふれプラの空調機器の設置を各部屋に行いますが現在足場の工事を行っている

状況です。また、給排水工事を1月に入札を行い、1ヶ月間の工期で実施して行きます。

亀田給食センター施設長：

2学期の給食は、12月20日で終了いたしました。2学期中に関しましても、特に事故もなく給食を提供できたと思います。3学期の給食につきましては、1月8日から再開いたします。1月は全体で17回行います。1月30日の給食は栄町特産の黒豆を提供する予定です。

先ほど補正予算の話がありました。理由としましては、2本の蒸気配管の内1本に不具合が生じたので修繕を行うものと、食器洗浄機も不具合が生じたので修繕を行いまして、通常の状態に戻すものです。

8 その他

池田教育総務課長：

1月の教育委員会議は1月30日に行う予定です。

平成30年度第2回教育長・教育委員研修会の開催について説明いたします。

(資料により、内容説明)

9 教育長閉会宣言